

10月21日卓話報告

(有)3D-FACTORY代表取締役 邦楽作家 佐藤 三昭 様「邦楽の魅力」

私は創作和太鼓という音楽ジャンルで活動しております。創作和太鼓というのは新しい芸でございましてここ40年くらいと言っているかと思えます。もともとは伝統芸能の中にある太鼓、神社・仏閣などにある神・仏に通じる楽器として地域に、日本中に広がっていたものですが、これを一つの音楽として、太鼓のアンサンブルによる新しい芸術領域に高めたいということで、旗を振り、日本の中にそういう動きを作った者の一人でございます。

太鼓と言いますと祭りのお囃子の様な、活気あふれる躍動的な、情緒を表すものでございますが、そこに増して様々なテーマごとの楽曲、世界、ステージ化という事に活動しております。私は子供の時に太鼓に出会って32年間関わってきまして、これまでの創作曲は160を超え、地域団体を含め、育成団体60団体を超えております。太鼓の魅力は、日本人は特に郷愁といいますが、奥から来る哀愁、または豊かな気持ちになったり、わくわくしたりします。太鼓というのはドンと打てばドンと鳴る音ですので、太鼓の曲というのはドンという音の積み重ねで曲が構成されます。そのドン、ドンという音の積み重ねが一つの風景を描き、懐かしい気持ちになったりする、音色の豊かさ、白黒だからこそ、それぞれの方がそれぞれに思いをもって、その心の中に彩りを見つける、そういった面白い世界でもあります。今は、出来たものを一方的に見て感じるというところですが、むしろ、自分一人一人が彩りを感じ、思い出を感じる、ドン、ドンという音を通じてそれぞれが織りなして、彩りを見つける、そこが太鼓の魅力と思い活動をしております。

作曲する際には一つの物語を作ります、その物語を感じていき、テーマと言葉を非常に大事にし、その中で音が聞こえてきてそれを採譜しています。それをどのように演奏者に伝えるかと言いますと、メンバーには沢山言葉かけしまして、無機質な楽譜と、私が創る時に思い描いた物語とを同時に考えてもらいます。一人一人が思考し、思考の渦に巻き込まれ、最終的にメンバーがその気持ちになり、その曲そのものになり、演奏する。本人がそうしたい、そうせざるを得ないように仕向けています。私はそうなるように伝えていきます。

また、鑑賞者を作るということで学校を回っております。観賞とは、絵でもお芝居でも音楽でも、それに触れた時に、そのストーリーを追う、理解しようとするが、それ以上にその芸術が鑑となって、自分に置き換えて感じる事が出来ます。それを子供たちには、見た芸術の感想ではなくそれを見てどう感じたのか、どう思いを膨らませたのかというポテンシャル、感じようとする力を大切に伝えようとしています。



ニコニコBOX (10/21・10/28)

福島西RC 河野 担司 様...福島西RCから参りました。お世話になります。なお、本日で全都道府県177クラブ目です！

松井 有紀 会員...先日、西澤会長のコンペで馬券が2口的中しました。お裾わけです。

森川 昭正 会員...お誕生日の果物ありがとうございました。いよいよ大台50才突入です。

佐藤 優昭 会員...なかなか来られなくてすみません。本日は宜しくお願ひします。

茂住 忠雄 会員...昨日、茂木久美子さんの講演会を聞く事ができました。新妻さん、ありがとうございました。

10月28日 第5回宮城野RC ゴルフコンペ

(泉パークタウンゴルフ倶楽部)

優勝 高橋 良一 会員

準優勝 鈴木 育 会員

3位 富田 和彦 会員

来る在仙12RCゴルフコンペで団体優勝を目指すべく、当クラブ精鋭(?)6名で練習ラウンドを行いました！生憎の雨と今年一番の寒さという悪コンディションの中、コース戦略と戦術を身に付け万全の体勢で対抗戦に挑みます！12クラブ対抗戦の結果をお楽しみに！！
幹事 伊藤

10月28日親睦夜間例会「お月見会」

18:30~ 中華料理「桃李」にて



会員17名参加の大変賑やかな会となりました